

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書9章43b-48節＞

主イエスの死と復活の予告記事。それが持つ意味を追う。その前半。

1 主の死と復活の予告の意味は、すぐに理解できなくていい。

イエス様をご自分の将来に起こることを告げられ、弟子たちがそれを理解できないことが記されています。「彼らには理解できないように隠されていたのである」(45)、というルカの言葉に困惑するかもしれません。実は、ルカは9章21節以下と18章31節以下の計3か所で、イエス様と弟子たちで同じようなやり取りがあったことを記しています。そして大事なことは、24章44節以下で、弟子たちが理解できるようになった出来事を記しているということです。いつもお話しします通り、聖書はそこに記されている言葉だけで理解するのではなく、文脈から、さらには聖書全体から理解しなければならない書なのです。イエス様は今日の個所で、「この言葉をよく耳に入れておきなさい」(44)とされています。「今は理解できなくていい、いずれ分かる時が来るから」、そんな感じがします。そしてそうやって行ったのです。今の私たちも同じです。

2 主の死と復活の予告の意味は、聖書によって分かるもの。

問題のルカ福音書24章44節以下には、復活されたイエス様が二人の弟子たちに聖書（旧約）を解き明かされたことが記されています（24:27でも）。イエス様の死と復活の出来事が私たちを救いに導く神様のご計画に合致していることが解き明かされ、それによって弟子たちの心の目が開かれたのです（24:45, 31-32）。イエス・キリストが救い主であることが理解できるのは、そのために神様が与えて下さった聖書に向かうときなのです。私たちがそうするとき、普通では人間に理解できない神様の救いを理解できるように、神様が導いて下さるのです。

3 主の死は人間によって殺されると共に、神にゆだねられた出来事。

「人の子は人々の手に引き渡されようとしている」(44)の「引き渡す」の原語は、敵の手に、異邦人に引き渡すだけでなく、イエス様が十字架上でなくなる時に、「父よ、わたしの霊を御手に委ねます」(23:45)と、神様に引き渡すことにも用いられている語です。ここに聖書の中でも最も深い、私たち人間の思いを超えた、御子イエス・キリストを罪人に引き渡すことによって私たちの罪を赦して新しい命に生きるものとして下さる神様の救いの業が示されていると言えるでしょう！ 感謝。